

道路ライブカメラ設置保守管理業務委託
審査基準

1 審査方法

- (1) 提案者から提出された書類及びプレゼンテーションの内容について審査を行う。
- (2) ヒアリングでは参加申込書及び企画提案書に記載された事項について質疑応答を行う。
- (3) ヒアリング時の追加資料は受理しない。
- (4) 予算限度額を超えている場合は失格とする。

2 審査項目、内容、配点

審査項目		判断基準	配点	
書類審査	セキュリティ	プライバシーマーク（JIS Q 15001）の認証及び情報セキュリティマネジメントシステム（ISO/IEC27001）の取得があるか。 ①両方取得している ②どちらか片方取得している ③どちらも取得していない	① 10 ② 5 ③ 0	60
	実績	国や地方公共団体が野外に設置したカメラにおける保守管理業務の令和2年度以降に契約した実績台数で評価する。 ※複数の発注者の合計台数とする（同じカメラの実績が複数契約ある場合は、1件として扱う） ①100台以上 ②70台以上～100台未満 ③30台以上～70台未満 ④30台未満	① 10 ② 7 ③ 3 ④ 0	
	実施体制、スケジュール	実施体制及びスケジュールが具体的で優れたものであるか。 ①業務を確実に遂行できる社内体制がある、かつ、早期にサービスを利用できるスケジュール提案である ②業務を確実に遂行できる社内体制がある、または、早期にサービスを利用できるスケジュール提案である ③どちらも満たしていない	① 10 ② 5 ③ 0	
	長期コスト	20年間のトータル想定コストで評価する。 本業務で道路ライブカメラ設置後20年間のトータル想定コストで評価する。 （参加表明書提出者のうち最低トータル想定コスト÷ 当該参加表明書提出者のトータル想定コスト）×30	30	
ヒヤリング	不具合が発生した際の対応方法	道路ライブカメラの不具合が生じた際に、早期に復旧できる体制が確保されているか。 ⇒早期復旧が見込め、群馬県職員の負担軽減に繋がる場合は優位に評価する。	優 10 良 7 可 3 不可 0	40
	付帯機能	仕様書で定めた事項以外の機能で、道路管理業務において有効活用できるものがあるか。 ⇒他システムとの連携や死活監視機能、長期の保存機能等、仕様書に定めていない機能で有用なものであった場合に評価する。	優 10 良 7 可 3 不可 0	
	セキュリティ対策	道路ライブカメラの運用に関して、セキュリティ対策がなされているか。 ⇒ランサムウェア等に対するセキュリティ対策が十分にされている場合に評価する。	優 10 良 7 可 3 不可 0	
	公開方法の提案	本業務で新設する道路ライブカメラおよび既設カメラについて、道路利用者および県職員が利用しやすい公開方法に関する提案がなされており、その内容は有効であるか。 ⇒提案が有効だと認められる場合に優位に評価する。	優 10 良 7 可 3 不可 0	
合 計			100	
参考見積	予算限度額を超える場合は特定しない。		数値化しない	